

平成28年度第2回沼田市総合教育会議会議録

- 1 開催日  
平成29年2月23日（木）
- 2 場所  
中央公民館学習相談室
- 3 出席者  
沼田市長 横山公一  
沼田市教育委員会  
教育長 大竹孝夫  
委員 笹川一良  
委員 保坂充勇  
委員 飯田富美子  
事務局  
高山正教育部長、茂木敏昭庶務課長、竹之内篤学校教育課長、小菅伸一社会教育課長、川田正樹体育課長、平井通晃庶務課長補佐
- 4 開会 午後3時00分
- 5 市長あいさつ
- 6 会議録署名人の指名  
市長が飯田委員を指名
- 7 議事  
議長：横田市長  
議題  
(1) 沼田市教育施策の大綱策定について  
○教育部長、各課長より説明  
  
笹川委員)  
学校評議員の人選等は各学校でしているのか。教育委員会で指示などはしているのか。  
学校教育課長)  
設置についての指導はしている。それ以外は各校の状況に応じて各校にまかせている。  
  
保坂委員)  
競技スポーツの推進に関して激励金の拡充を図るとあるがどの程度の額を考えているのか。  
体育課長)  
他市の状況と照らし合せて検討していきたい。

飯田委員)

スクールバス運行等の支援の対象に通学危険地域を加えてはどうか。

庶務課長)

検討したい。

保坂委員)

表彰の際に対象者を呼び捨てにしていることに違和感を感じる。考え方を  
変えた方がいい。

教育部長)

市全体で検討していきたい。

市長)

言も改めるところは改めた方がいい。

保坂委員)

学校体育施設の貸出は結構あるのか。

簡単に借りられるのか。

体育課長)

平成27年度実績では小学校13校で3211回、中学校8校で2599  
回使用されている。

手続き的には面倒なことはない。

教育長)

借りるための利便性向上のため、ネットでの申し込みについて課題として  
いる。

市長)

検討したほうがいい。

笹川委員)

回数は校庭の利用は別なのか

体育課長)

校庭の利用は別で、小学校は1722回、中学校は56回。

保坂委員)

英語教育の充実とあるがどの程度図られているのか。国語力がないと読ん  
でも理解ができない。そのあたりはどう考えているのか。

学校教育課長)

言語活動の充実ということで取り組んでいる。基本は国語力にあると考  
えてえている。

教育長)

これからの教育ではアクティブラーニング、英語教育、読解力をつけるの  
3つが特に求められている。本市でも本を読むということを重視している。

飯田委員)

なぜそうなったのかを振り返って考える力も大切だと思う。

異議なく承認

(2) 平成29年度実施予定事業について

○教育部長、各課長より説明

保坂委員)

国際交流事業について今後相互交流にしていく考えはあるのか。

学校教育課長)

現状では交流までは難しいと考えている。

飯田委員)

放課後こども教室について、多くの学校で実施するよう推進して欲しい。

社会教育課長)

拡大については心がけており、なるべく推進していきたい。

笹川委員)

尾瀬学校について対象は全校なのか、絞られているのか。日帰りでの実施なのか。

学校教育課長)

小中学校のうちに1回は対象となることになっている。全て日帰りで実施している。

笹川委員)

文化会館の管理費の市負担割合はどのような根拠によるのか。

社会教育課長)

人口割と財政力指数割で負担している。

市長)

広域圏の約19億の予算のうち文化会館の分。

保坂委員)

土岐邸と教会記念堂は移設すると維持管理はどの位になるのか。

社会教育課長)

まだ計算していないが、1か所に集まることで集中管理が出来るよう考えたい。

市長)

3つそろったら大正ロマンで打ち出したら活性化につながると考えている。

異議なく承認

(3) その他

総合教育会議設置要綱の一部修正について

異議なく承認

8 閉会 午後 4 時 3 0 分